

令和5年度

第3回 北広島市都市計画審議会

議 事 概 要

令和5年11月20日(月)

市役所3階 会議室3D

北広島市企画財政部都市計画課

令和5年度 第3回北広島市都市計画審議会

- 1 日 時 令和5年11月20日(月) 15時00分～15時46分
- 2 場 所 北広島市役所3階 会議室3D
- 3 出席者 委 員：会長ほか8名
事 務 局：企画財政部長ほか3名
関係部局：企画課長ほか3名

【委員】

青木 崇	安藤 淳一(会長)
石山 玄幸	京野 英隆
小山 茂(職務代理)(欠席)	佐藤 芳之介
鈴木 聡士	永井 桃
中山 雄一	福田 菜々

【事務局】

企画財政部長	千葉 直樹
都市計画課長	大西 康文
都市計画課 主査	後藤 明夫
都市計画課 主任	市川 嘉人

【関係部局】

企画課長	下野 直章
企画課 参事	牛島 裕幸
企画課 主査	矢吹 淳志
企画課 主任	畑中 良太

- 4 傍聴者
1名
- 5 議事内容

1 開 会

2 議事録署名委員の指名

3 議 事

報告案件第1号「北広島市立地適正化計画改訂案」について

報告案件第1号（資料1、別紙、抜粋版）について事務局から説明

[質問・意見]

A委員

市の総合計画と立地適正化計画における人口確保の内容について確認したい。

関係部局

総合計画の人口6万人を目指しつつ、コンパクトシティ・プラス・ネットワークを進めていく。

A委員

市民説明会にて、JR 新駅の整備は検討を深めてほしいとの意見があったが、立地適正化計画の記載とどう合わせるのか。

関係部局

新駅整備を目指して取り組むということで記載している。

A委員

全市的な防災に関する取組の進め方は、関係課とこれから協議していくのか。

関係部局

危機管理課所管の各種計画等の記載により全市的な防災対策を取っていく。

A委員

防災食育センターを活用した防災訓練は、全市的なのか、または大曲・輪厚地区中心か。

関係部局

教育委員会所管課で検討していると考えます。

A委員

既存の公共施設のあり方はどうしていくのか。

関係部局

公共施設については立地適正化計画と別の担当において検討している。

B委員

今回の改訂は F ビレッジ地区に都市機能誘導区域のみを設定するのか再確認したい。

関係部局

そのとおり。

B 委員

今後の国立社会保障・人口問題研究所における将来人口推計の予測は、F ビレッジによる波及効果が含まれていない可能性が高い。市での独自の将来人口推計があれば教えてほしい。

関係部局

現時点では国立社会保障・人口問題研究所を上回る独自推計には至っていない。市の集合住宅等の供給戸数が一定程度揃ったら1世帯2~3人と見込み、期待値としての推計は可能と思われる。

B 委員

次期計画見直しに向け、パターン別の将来人口推計を戦略的に練っておくとよい。

関係部局

平成27年の将来人口推計における令和2年の推計値と令和2年の国勢調査結果を比較した際、1,000人ほど実際の人口が上振れしていることから、今後の人口動向を注視した上で人口推計を行っていく。

A 委員

公共交通の確保等の今後の考え方は立地適正化計画に記載されているのか。

関係部局

公共交通については別の計画にて検討している。

C 委員

防災指針で西部地区と北広島団地地区は含まれていないが、立地適正化計画には反映しないのか。

関係部局

防災指針は市街化区域を対象としており、西部地区と北広島団地地区は共に市街化調整区域に土砂災害警戒区域があるため反映していない。

4 その他

事務局

次回の都市計画審議会の開催予定について説明

5 閉 会